

東京理科大学総合研究機構総合研究院 アカデミック・ディテリング・データベース部門主催
東京理科大学薬学部基礎実務研修プログラム共催

アカデミック・ディテリング・データベースの重要性 ～医薬品特性から見た安全性・有効性予測～

2015年9月5日(土)

東京理科大学神楽坂校舎1号館17階記念講堂(参加費無料)

司会進行 嶋田修治(アカデミック・ディテリング・データベース部門委員)

14:00

挨拶 アカデミック・ディテリング・データベース部門長 小茂田 昌代

<基調講演>

14:05~14:45

1. 副作用のゲノムバイオマーカー

国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部客員研究員

鹿庭 なほ子 先生

14:45~15:25

2. オーストラリアにおけるアカデミック・ディテリングとNPS Medicinewiseの活動

松山大学薬学部

松岡 一郎 先生

15:25~16:05

3. 基礎科学の臨床活用-アロクロスの活用例-

立命館大学薬学部

角本 幹夫 先生

▶▶▶▶ 休憩(16:05~16:20) ▶▶▶▶

<共同研究企業紹介>

16:20~16:35

株式会社ユニケソフトウェアリサーチ
(メディカルデータベース株式会社)

代表取締役 社長

亀田 裕文 様

<部門報告>

16:35~16:45

製剤情報としての物性評価

部門委員 河野 弥生

16:45~16:55

CYP 酵素情報の相互作用介入への活用

部門長 小茂田 昌代

<総合討論>

16:55~17:15

閉会挨拶

薬学科主任 花輪 剛久

問い合わせ先:
東京理科大学薬学部 小茂田研究室
komo1207@rs.noda.tus.ac.jp

